

## 2009年度日本文化人類学会 第10回 理事会 議事録

日時：3月29日（日）14：00－17：30

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-507

出席者：山本、赤堀、上杉、太田、岸上、葛野、栗田、佐々木、須藤、和崎

委任状提出：鏡味、春日、窪田、桑山、坂井、瀬川、関根（久）、関根（康）、鷹木、名和、松田、吉岡

### 〔承認事項〕

1. 2009年度第8回理事会議事録案
  - ・前回（2009年度第8回）理事会議事録を文言を調整の上、承認。
2. 2009年度第9回理事会議事録案
  - ・理事会メーリングリストによる持ち回り理事会（2009年度第8回）議事録を承認。
3. 新入会員の承認
  - ・新入会員（1名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

### 〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・2月15日付で民博連携委員会委員長を通して2月21日国立民族学博物館主催の「実践人類学ワークショップ：支援の人類学の射程」の共催依頼があったため、急遽第9回理事会（持ち回り）を開催することになったことを報告。理事会で審議する期間が極めて限られていたことを受けて、会長から国立民族学博物館館長へ民博連携事業に関する「申し入れ」を行い、館長より「回答」を受け取ったことを報告。また、実践人類学ワークショップが2007年3月26日付で提出された「国際協力のための実践人類学ワークショップ事業案」では3ヵ年計画となっていることを受けて、2008年2月27日付けで結ばれた本学会と国立民族学博物館との連携事業に関する協定中の実践人類学ワークショップ開催に関連する項目等を再検討する必要があることを次期理事会に申し送ることとした。
  - ・文化人類学教育特別委員会から文化人類学フィールドワーク読本の序文の執筆依頼があり、現在執筆中であることを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・故大塚和夫会員遺族から学会誌を献本したことに対する礼状が届いたことを報告。
  - ・第24回評議員選挙について配布資料に基づき選挙結果を報告。また、選出評議員一覧を評議員選出通知に同封したことを報告。なお、従来は総会において評議員選挙結果の報告を行ってきたが、会員への報告を早めてはどうかとの意見が出され、次期理事会・次期評議員選挙管理委員会に申し送ることとした。
  - ・学会誌販売を委託している丸善株式会社より、刊行済みバックナンバー全巻の購入希望があったとの連絡があり、総務会で販売価格を検討した結果、丸善経由で販売する場合には、65巻以降は1冊3000円、64巻以前は1冊2100円としたことを報告。
  - ・学会編の『文化人類学事典』（丸善出版）が第4刷として300部増刷される予定であることを報告。
3. 広報理事報告
  - ・国立情報学研究所が行っているJ-STAGEについて今後事業変更の可能性があり、今後の学会の予稿集公開システムを再検討する必要があることを報告。

- ・第44回研究大会参加申し込みについては、e-mail、あるいはFAXにより受け付けているが、第45回以降の研究大会参加申し込みについては、ホームページ上で受け付ける予定であることを報告。
  - ・学会誌を電子図書館サービス上で公開していることについて、いくつかの団体から問い合わせ等があったことを報告。
4. 各種委員会報告
- ・国際連携委員会：海外の学会誌定期購読機関に対し、JRCA購入依頼書を添えて“JRCA” Vol. 10を送付することを報告。
  - ・部会制導入検討委員会：「部会制導入検討委員会の答申（案）」について説明があり、文言調整の上、正式な答申として次期理事会へ申し送ることとした。
  - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。
  - ・倫理規定検討委員会：「倫理綱領」英語版素案について説明があり、文言調整の上、次期理事会へ申し送ることとした。
  - ・学会賞選考委員会：上杉理事より、学会賞・奨励賞受賞者発表方法について説明があり、受賞者名（論文名）は今年度中に学会ホームページへ掲載すること、授賞理由については総会で発表された後に学会ホームページへ掲載することとした。
5. その他
- ・葛野理事より、第44回研究大会第4回サーキュラーを近日中に研究大会ホームページに掲載する予定であることが報告された。また、丸善株式会社委託保管分のうち引き取りを依頼されていた学会誌バックナンバーを第44回研究大会会場で販売することについてJASCA-INFOで配信することとし、残部は廃棄処分とすることが確認された。

〔審議事項〕

1. 2009年度事業報告・2010年度事業計画（案）
  - ・上杉理事より、2009年度事業報告・2010年度事業計画（案）について配付資料に基づき説明があり、各項目の確認を行なった。
2. 2009年度決算報告・2010年度予算（案）
  - ・葛野理事より、2009年度決算報告・2010年度予算（案）について配付資料に基づき説明があり、波平基金の具体的な用途について次期理事会で検討を行うよう申し送ることとした。
3. 旧民族学振興会資料の一部公開について
  - ・学会歴史委員会委員長の山本会長より、公開レベルの分類を行なった旧民族学振興会資料のリストについて説明があり、将来的に一部資料の公開を行なうことが承認された。また、公開に関する許諾が得られたインタビュー映像については、国立民族学博物館で公開の準備を進めており、今後理事会の承認を得た上で公開を開始することとした。
4. その他
  - ・「高等学校における地理歴史科の履修形態の改善に関する要望書」に関して、日本学術会議の地理教育の部会から本学会に対して連署に名前をのべて欲しいとの要望があったことが報告され、要望書の文言が確定した段階で総務会が文言の確認を行った上で、署名することが承認された。

以上